





三輪素麺 巽

ご利用の前は
お気軽に
事務所まで
お越し下さい

ご来店ありがとうございます
平城遷都
1300年祭
8 6 9 kg

手延素麺
国産小麦使用



1.3 km

桜井市



大和川



山の辺の道
Yamanobe-no-michi

金屋の石仏 約0.6km
Kanaya-no-sekibutsu



歴史街道

JR 三輪駅 約1.2km
JR Mihara St.



ここは桜井市
金屋です
Kanaya

金屋の石仏

Kanayano Sekibutsu

忍阪

近畿自然歩道



奈良県
環境省



仏教伝来の地

二二泊瀬川畔一帯は、磯城瑞籬宮、磯城嶋金刺宮をはじめ最古の交易の市・海柘榴市などの史跡を残し、「しきしまの大和」と呼ばれる古代大和朝廷の中心地でありました。

そしてこの付近は、難波津から大和川を遡行してきた舟運の終着地で、大和朝廷と交渉を持つ国々の使節が発着する都の外港として重要な役割を果たしてきました。

「欽明天皇の十三年冬十月、百済の聖明王は西部姫氏達率怒喇斯致契等を遣して釈迦仏金銅像一軀、幡蓋若干、経論若干巻を献る」と日本書紀に記された仏教伝来の百済の使節もこの港に上陸し、すぐ南方の磯城嶋金刺宮に向かったとされています。

この場所は、仏教が初めて日本に送られてきた記念すべき地であります。

また「推古天皇十六年、遣隋使小野妹子が隋使裴世清を伴って帰国し飛鳥の京に入るとき、飾り馬七十五頭を遣して海柘榴市の路上で彌比羅夫人に迎えさせた」と記されているのもこの地でありました。

私たちはこの地の歴史的由緒と、優れた日本文化を生み出す源流となった仏教伝来の文化史的意義を、広く永く後世にとどめるため、ここに顕彰碑を建立しました。

平成九年七月吉日

日本文化の源流桜井を展く会

ここより東南約三百メートル水道局前庭に磯城嶋金刺宮趾があり、宮趾の碑（保田與重郎書）と仏教公傳の文学碑が建てられている。

傳説

東大寺
南無阿彌陀佛



史街道
SAKURAI KAIRO

山の辺の道周辺ご案内



桜井市

創立30周年記念
桜井ロータリークラブ









志貴御縣社

納

奉



石仏 ▶

平等寺・大神神社



金屋の石仏・つばいち

東海自然歩道

環境省
自然環境
庁





三輪山平等寺境内図

平等寺研修道場
いじめに負けない強い心と身体をつくる実践カラテの道場。
平等寺カイロプラクティック院。

熱取り地藏尊
吉野町時代の僧善教が大和の国の熱病平癒のために彫られた地藏尊。

聖徳太子像
581年 この国の平和を祈願してこの寺を開かれた開基開山聖徳太子をまつる。

鐘楼堂
昭和62年再建された。人間国宝香取正彦氏に指導をうけ、富山の老子製作所で鋳造された。

稲荷社
伏見稲荷、豊川稲荷、孫太郎稲荷の三社をまつる。

赤門
かつては重層の門であったが昭和51年 現住職が手作りで建立した門。

行事ご案内

一月 一日～三日	修正会
一月 成人式の日	三輪不動初ごま会
二月 三日 十時	節分星祭会
四月第一日曜十時	釈尊花祭り大護摩会
八月 一日九時半	最勝会 お施餓鬼塔婆供養
八月二三日 一時	水子地藏法会
一二月二一日一時	三輪不動しまいごま会
春秋彼岸中日二時	彼岸法要
毎月一八日 一時	観音講 (ご詠歌の集い)
毎月二四日 二時	水子供養会
毎月二八日 二時	月次ごま会
毎週日曜 六時半	坐禅会



至 大三輪神社



平等寺研修道場

至 JR 三輪駅
薬師堂
恵比寿神社



山門



手水舎



万葉歌碑



句碑



事務所受付



本堂 (地下坐禅堂)



波切不動



不動堂



磐座



不動の滝



鐘楼堂



聖徳太子像



句碑



稲荷社



赤門



至 金屋石仏
仏教伝来地
桜井



山の辺の道

善女竜王の池

開山歴住墓

心字蓮池

仏足石



二重塔釈迦堂

平等寺川

大行事社

三輪山一山の年間の行事等のとりきめをした社で、元恵比須である。

本堂

昭和62年再建され、聖徳太子の御自作と伝えられる本尊十一面観世音菩薩はじめ薬師如来、阿彌陀如来、地藏菩薩、聖徳太子像をまつる。

不動堂

中央に弘法大師御自作と伝えられる三輪不動尊、右に役行者、左に理源大師をまつる。

二重塔釈迦堂

平成16年に800年ぶりに再建され、中央に生身釈迦像、平等寺仏足石、インドダルマラジカ寺伝来の仏舎利をまつる。

波切堂

弘法大師の信仰された波切不動明王をまつる。

不動の滝

昔より大峰山に登る行者が修行された行滝でたらたら不動尊をまつる。

三輪山平等寺

三輪山平等寺は、五八一年聖徳太子が賊徒を平定するため三輪明神に祈願して賊平定後十一面観音を刻んで寺を建立し、大三輪寺と称したのにはじまります。鎌倉時代初期、慶門上人を迎え平等寺と改称してから大伽藍が再建され、仏法の根本道場として栄えました。

明治の初期、廃仏毀釈によって堂塔ごとく整理をせまれましたが、今日再び復興され、心を清く神の寺として多くの人々に親しまれております。

三輪山平等寺

この寺は、581年聖徳太子が賊徒を平定するため、三輪明神に祈願して賊平定後十一面観音を彫んで寺を建立し大三輪寺と称したのにはじまります。鎌倉時代初期慶円上人を迎え平等寺と改称してから大伽藍が再建されました。徳川時代には修験道の霊地として大峯山に向う修験者が境内にある不動の滝に打たれて行をしました。

